

1 事業の趣旨

- ・ 省エネの専門家が府内の事業所を訪問し、それぞれの事業所のお悩みや実態に応じて、適した省エネの方法をご提案。地球温暖化防止や、エネルギーコスト削減による事業者等の経営基盤強化等に貢献します。

<お悩み例>

- ・ 毎月の電気代が高額で困っている。なんとか経費節減したいが、方法が分からない。
- ・ 設備(空調、照明等)が老朽化しており更新する必要がある。更新に合わせて、省エネ設備を導入したいが、お勧めの設備やどれくらいの期間で投資回収できるかを知りたい。
- ・ 太陽光発電等による再生可能エネルギーや蓄電池の導入に取り組んでみたいが、どうしたらよいのか分からない。
- ・ エネルギーマネジメントシステムを導入したが、うまく使いこなせていない。など

2 診断の対象

京都府内に事業所を持つ中小企業(法人及び個人)、各種法人、団体など

3 受付期間・お申し込み方法

令和4年4月25日(月) ~ 令和5年1月27日(金) (※予定数に達するまで)

京都知恵産業創造の森のホームページから、お申し込みください。

https://chiemori.jp/smart/support/y2022/r4_ems.html

4 事業のステップ

診断申込

- 1 申込書と次の書類を、一般社団法人京都知恵産業創造の森までご提出ください。
(FAX、Eメール、郵便のいずれか)
＜提出書類＞
 - ① 申込書(様式は当法人のホームページに掲載)
 - ② 直近月の「電気料金計算内訳書」のコピー、使用している他のエネルギー(ガス、重油など)の直近月の請求書のコピー
- 2 診断実施機関(NPO法人京都シニアベンチャークラブ連合会)から訪問日を調整

詳細診断(←お勧め)

- ① 診断員が事業所を訪問し、3時間ほどお時間をいただき、計測とインタビューを実施
多くの電力を消費する機器に消費電力計を設置し、1週間程度継続的にデータを計測
- ② 診断員が事業所を訪問し、データに基づく詳細な診断結果の報告書をご提出し、効果的な運用方法や設備改修方法について説明・提案

簡易診断

- ① 診断員が事業所を訪問し、2~3時間ほどお時間をいただき、簡単な計測とインタビューを実施
- ② 当日中(原則)に、簡易診断の結果報告と助言を実施

詳細診断では、各事業所の状況に応じ、具体的なご提案を行います(提案項目の例)

| | | |
|-------------------|--------------------------|--|
| 空調負荷の低減 | 日射負荷の低減 | 窓ガラスへの遮熱フィルム貼付 ブラインド・カーテンの活用 空調室外機の日よけ、散水 |
| | 断熱の強化 | 断熱材の貼付・強化 複層ガラス 屋上、壁面緑化 |
| | 温度設定の緩和 | 居室・共用部の空調温度 |
| | 外気量の適正化 | 在室人数に応じた換気量 不使用室の換気運転 隙間風の防止 |
| 機器の効率化 | 高効率機器への更新 | 変圧器 照明器具(インバーター安定器、高輝度蛍光灯等) 空調設備 昇降機 ポンプ類(インバータ化、台数制御等) 省エネベルトの装着 |
| | 運転台数の見直し | 空調熱源機 照明器具 |
| 自然エネルギーの利用 | 屋光利用の検討 | 照明制御 |
| | 自然換気・通風の導入 太陽光発電設備の導入 | 採用有無の検討 設置規模の検討 |
| 水資源の有効利用 | 節水器具の採用 | 節水器具、自動水栓、節水コマ 擬音装置の導入 |
| | 雨水・再生水の利用 | 雨水貯水タンク、雑用水利用 |
| 無駄の排除 | 排熱の利用 | 全熱交換器の採用 |
| | 熱損失の防止 | 空調ダクト、冷温水、給湯の断熱強化 風除室、エアカーテンの設置 |
| | 熱混合ロスの防止 | 冷熱・温熱混合ロスの防止 |
| | 人感センサー導入 | 照明・換気設備に人感センサー連動 |
| 最新システムの導入 | 自動制御見直しによる高効率化 | 高機能自動制御設備の導入 電力デマンド制御の導入 |
| | 給水システムの見直し | 水道本管水圧を利用した給水方式 |
| 運用管理の見直し | 運転見直し | 中間期の空調稼働停止 昇降機の時間外台数運転 夏季の給湯停止 |
| | 維持管理 | 設備運転時間の管理 空調フィルター・コイルの清掃 照明器具の清掃 |
| 省エネ・節電 ・EMSの推進 | 省エネ・節電 ・EMS推進の体制整備 | 組織の構築 EMS導入等によるエネルギー使用状況把握・業務改善 |

省エネ成功事例

| | | |
|-----|--|---|
| 事例1 | <p>蛍光灯照明のLED化 ・110Wの蛍光灯を140本使用されている店舗の照明を直管型LEDランプに交換</p> | <p>○年間消費電力 70%削減 ○年間電気料金 101万円削減 ○LED化に係る投資 1.4年で回収</p> |
| 事例2 | <p>低圧電力契約料金の見直し ・水冷空調機の老朽化に伴い、空冷ヒートポンプ式高効率空調機に更新したが、電力会社の契約電力量の見直し申請を忘れていた。</p> | <p>低圧契約電力量の見直しを申請するだけで ○低圧動力契約電力 42kWh ⇒ 26kWh ○年間の電力基本料金 19万3千円削減</p> |
| 事例3 | <p>コンプレッサーのインバーター化 ・12時間連続運転の定速型コンプレッサーをインバータ型に交換</p> | <p>ピーク電力が下がった結果、電力基本料金も下がり ○年間消費電力 73,134kWh削減 ○年間電気料金 149万円削減 ○コンプレッサー交換に係る投資 1.7年で回収</p> |
| 事例4 | <p>夏場のピーク電力対策 ・スーパーマーケットで夏場の猛暑日だけピーク電力が発生していることが調査の結果判明。その時間帯のみバックヤードの照明や空調温度のコントロールを実施</p> | <p>契約料金プランを変更できたことにより、 ○年間電気料金 63万6千円削減</p> |

その他の事例は、「省エネ・節電・EMS 令和3年度事例集」をご覧ください。

<https://chiemori.jp/smart/cms/wp-content/uploads/2022/02/1584e7a57bf657797680ffba3d14ac66.pdf>

5 診断・アドバイス実施機関

NPO法人 京都シニアベンチャークラブ連合会 (略称:KSVU)

企業・行政等で経験を積んだOBの知識・技術・ノウハウを社会貢献に役立てることを目的として、平成2年に設立。

中小企業等に対する経営改善のアドバイス、専門技術の提供及び人材育成、青少年の教育支援などの活動を継続中。

同会のメンバーでつくる省エネ研究会は、エネルギーの「見える化」をもとにした省エネ提案活動を行い、中小企業の省エネ・コスト削減に貢献している。

<次の会員で構成>

- 京都市シルバーベンチャークラブ(京都市役所OB等)
- NPO法人 XOクラスター(オムロン(株)OB等)
- 堀場OBベンチャークラブ((株)堀場製作所OB等)
- 島津シニアベンチャークラブ((株)島津製作所OB等)
- キャリアネットワーク京都クラブ(各種企業OB等)
- GS・OBベンチャークラブ((株)ジーエス・ユアサコーポレーションOB等)
- スリーエス・シニアベンチャークラブ(積水化学工業(株)OB等)
- エスエスアイクラブ((株)SCREENホールディングスグループ企業OB等)
- ワコール倶楽部チャレンジネット((株)ワコールホールディングスOB等)